

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「ロータリーを識り、  
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム

2560地区ガバナー 田中 政春

高田ロータリー会長 本山 秀樹

幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

## 第12回例会 ■ 9月30日(金)

No.12

### 会長挨拶 ● 本山 秀樹



皆さんこんにちはー

先週の例会は、特定休会と言う事でお休みでした。翌日の24日、第7分区IMには24名の会員の方からご出席を頂きありがとうございます。佐藤ガバナー補佐の熱い思いで、各地から留学生が多数参加され国際色に満ちた大会でした。特に、若いゲストスピーカーの発表は、これからの地方の国際の進め方について参考になりました。そして、懇親会では参加した180名余のロータリアンと親睦を深めることが出来ました。また、IMゴルフ大会の表彰式も同時に行われ、高田クラブは団体優勝と私が個人優勝でした。

27日から会員である三井さんのパチンコ店の視察を目的にホーチミン市を訪問しました。17年ぶりのホーチミン市の訪問でしたが、その発展の速さに驚きました。また、日本のODAでホーチミン市の地下鉄、メコン川の橋梁建設などインフラ整備に貢献していることをガイドから聞きました。ロータリーの国際奉仕も更に続けたいものです。

### 出席報告

出席率 97.92%

### メイクアップ

高坂光一君 (9/20 上杉米沢 RC)

本山秀樹君・東山昶也君・中田 正君・水上喜芳君・橋詰敏一君・大谷光夫君・牧野章一君・大島誠君・石倉 悟君・高橋正彦君・高坂光一君・田中正人君・羽深元悟君・佐藤教彦君・遠藤 巖君・堀井靖功君・栗田修行君・齋藤尚明君・高橋俊宣君・

岩崎幹男君・箕輪賢一君・チャーリー・C・ストラットン君・福田 聖君・宮澤英文君 (9/24 第7分区IM)

### 委員会報告

出席ニコニコBOX委員会

橋詰敏一君——今年も無事にオークション「米」特別栽培コシヒカリ 10kg を5名の方にお届け完了しました。天の恵みに感謝です。

高橋孫左衛門君——この度、母の葬儀に際しまして、大勢の皆様にご会葬を賜り誠にありがとうございました。

本山秀樹君——第7分区ゴルフ大会で、団体優勝と個人優勝に輝きました。同伴プレーヤーに感謝いたします。

親睦委員会——10/14 お月見例会のご案内

### 会員インフォメーション



野津省吾君——退会の挨拶

### 幹事報告

配布物：週報No.11・ロータリーの友10月号・米山奨学豆辞典

回覧物：地区大会パンフ・瀧川鯉橋師匠プロフィール (10/14 お月見例会「落語会」)

上越妙高駅雪と光のページェントパンフ・H28年度上越地域若者サポートステーション講演会について

報告：10月のロータリーレート102円/ドル  
11/6 地区大会のご案内

## 卓話

# ネパールの山間地における教育変動について

株式会社フジフォート 代表取締役 藤野 正二様



今日は高田 RC の皆様に 2 回目のスピーカーとしてお招き戴き誠に有難う御座います。またメンバーの個人、企業様から私のネパールアシストに、ご支援を戴きました事、厚く御礼と感謝申し上げます。

私の支援している学校は、4 校有りますが何れも山間地です。最初に行きましたのは 1977 年 11 月でした。ソルクンブ群と言う地域で、エベレスト街道に 1 校、左の谷間に 3 校の 4 校です。当時の子供たちは通学に片道 2 時間から 3 時間を要する教育環境でした。従って、通学出来る体力が出来てから新一年生として入学をしていました。新一年生は 4 歳から 6 歳まで対象になり、体力で判断され、学校区等も有りませんので、自由選択でした。教育制度は 5・3・2 制で教科書は小学校 2 年生までが無償で支給され 3 年から有償になっていましたが、2008 年 4 月に立憲君主制から連邦民主共和国になってから小学校 5 年生まで教科書の無償化が始まりましたが就学率は小学校で 70% 以下、中学では 30%、高校では 20% 以下と低い状態が続いています。大学に行くには専門コースに 2 年行き、国立トリブバン大学が 1 校でその傘下に 60 校の分校が有り、仮に医師を目指すとして 3 年の一般教養後、例えばアーユルベダー

3 年半、薬剤師は 1 年半、放射線技師は 1 年半、その他の診療科目では合計 13 年掛かりますのでインドの大学や、イギリス、アメリカ等に留学して留学先のライセンスを取得して帰国後 1 年間のインターンと 3 年間の研修医期間（インターンとは別に）が必要で、卒業すると、大変なエリートとして、迎えられる。

他の教育施設として、宗教系が多いのですが、ダミまたはジャクリと云う呪術医（トラディショナル・ハーラー TH）は、医師の中で最も多い医師資格者です。西洋医学者の 80 倍で伝統的な民間療法で西洋医師のいない所で活躍しています。大学の就学時間は午前 5 時から 12 時までと、午後 1 時から 8 時までの二部制です。午前大学、午後仕事。午前仕事、午後大学と言う高等学校からこの制度を実施している学校も有ります。格差社会も確実に広がっています。昨年の大地震以後、拡大が始まりました。カースト制度の復活とも言われています。しかし、確実に変化をしたのも「教育」です。幼稚園から大学までの私立学校が増えました。山間地から都市部へ流失も始まりました。更に、128 の多民族国家で、アーリア系とモンゴリアンの人種評価も取り沙汰されてきました。注視していくネパールでもあります。

## 第 7 分区 IM と IM 記念ゴルフ

幹事 中田 正君

9 月 24 日(土)新井ふれあい会館にて第 23 回の第 7 分区 IM（インターシティーミーティング）が開催されました。当クラブからは 24 名が参加し、今回は特に「留学生とともに世界あれこれ！」と題し国際色豊かに留学生の活動報告がなされ、また当地区でインターアクトを 6 年経験した荒牧さん（東京東江戸川ローターアクト会長）がポリオ撲滅運動のインドでの活動報告を行いました。ロータリーの奨学金や青少年奉仕活動が将来有望な若者たちを育てていると実感させてもらった IM でした。その後の懇親会では 9 月 17 日に開催された記念ゴルフ（当クラブ 10 名参加）の成績発表があり、高田クラブが団体戦優勝、本山会長が個人戦優勝、羽深耕時君がベストグロスをマークしました。直会は祝勝会となりたいへん楽しい一日でした。

